

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

運用実績等

ファンド概要

設定日	2013年08月01日
信託期間	2023年10月30日
決算日	毎年1月,4月,7月,10月の各28日(年4回)
信託報酬率	年 2.629% 程度 (税抜 年2.523% 程度)
基準価額	10,209円
純資産総額	417,261,828円

※決算日が休業日の場合は翌営業日となります。

※信託報酬率2.629%(税込)程度の外に運用成果に応じた実績報酬がかかります。

期間収益率

過去1ヶ月	-0.80%
過去3ヶ月	+5.85%
過去6ヶ月	+10.90%
過去1年	+7.18%
過去3年	+6.57%
設定来	+25.44%

※税引前分配金を全額再投資したものと計算しています。

分配実績(1万口当たり、税引前)

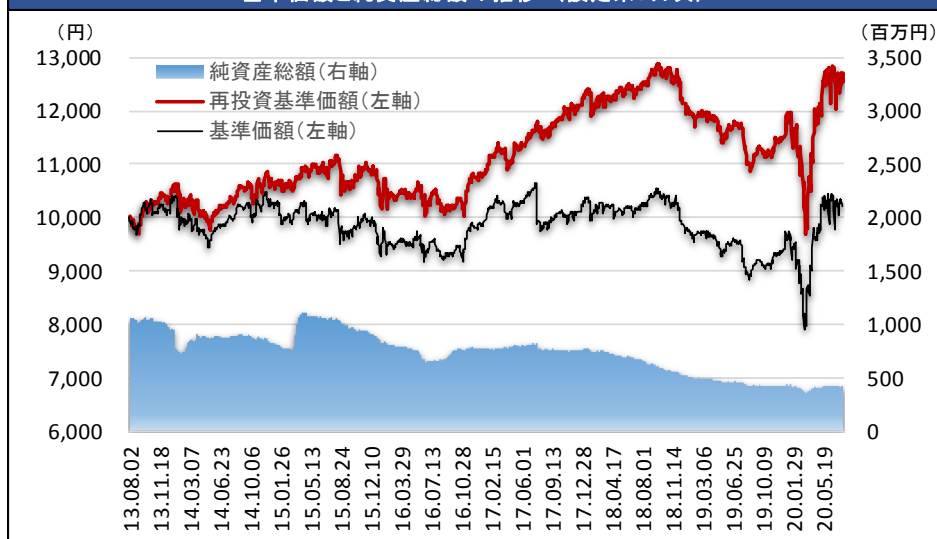
設定来合計	2,100円
第26期(2020年01月28日)	0円
第27期(2020年04月28日)	0円
第28期(2020年07月28日)	0円

※分配金実績は、過去の実績であり、将来の分配をお約束するものではありません。

※分配金は、交付目論見書記載の分配方針に基づき委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

※分配金実績は、直近3期分を記載しています。

基準価額と純資産総額の推移(設定来:日次)



※基準価額は、信託報酬(年率概算(税込)2.629%)控除後の値です。

※再投資基準価額の推移は、税引前分配金を全額再投資したものととして算出しているため、実際の受益者利回りと異なります。

資産構成

ケイマン籍外国投資信託(円建て) 「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」	98.46%
ユニテッド日本債券ベビーファンド (適格機関投資家向け)	0.51%
現金等	1.03%
合計	100.00%

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行えない場合があります。

※ユニテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)の運用基本方針は、主要投資対象であるユニテッド日本債券マザーファンドへの投資を通じて、わが国の債券に投資し、信託財産の長期成長を目指して、積極的な運用を行います。

※追加設定の計上タイミングと投資対象の購入処理等のタイミングのずれ等により、比率が100%をこえる場合があります。

ハイ・ウォーターマーク

次回計算期間の終了日まで	10,363円	※決算日前営業日の公表基準価額が翌期のハイ・ウォーターマークに更新されます。
--------------	---------	--

※決算日に収益分配金が発生した場合には、決算日前営業日の公表基準価額から収益分配金を控除した価額が、翌期のハイ・ウォーターマークとなります。

※信託報酬のほか、実績報酬を設けており、超過収益が発生した場合には収益の5.4%が各決算日および償還時に支払われます。なお、実績報酬は超過収益に応じて発生するため、実質的な数値を表示することはできません。

※計算期間中にファンドの解約をした場合には、解約価額(基準価額公表から信託財産留保額を控除した額)が既に実績報酬を含んで算出されておりますので、追加で実績報酬が発生することはありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資対象の投資信託証券の運用概況

ケイマン籍外国投資信託(円建て)「とこしえ日本株ロング・ショート戦略ファンド」

ファンドの特色

- 投資信託証券への投資を通じて、主としてわが国の金融商品取引所に上場する株式の買建て(ロング)と売建て(ショート)を行い、株式市場の変動による影響を軽減しつつ、信託財産の中長期的な成長を目指します。
- 投資銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチにより投資銘柄を選定します。

エクスポージャー	ロング・ポジション	ショート・ポジション
L/S エクスポージャー	179.13%	-84.83%
グロス・エクスポージャー	263.96%	
ネット・エクスポージャー	94.30%	

*流動性	ロング・ポジション	ショート・ポジション
1日	99.32%	100.00%
3日間	99.77%	100.00%
5日間	99.95%	100.00%

※25日平均出来高の20%を売買する前提としています。

保有銘柄数	ロング・ポジション	ショート・ポジション
239 銘柄	210 銘柄	29 銘柄

※保有銘柄数は、組入れの株式と上場投資証券の数を表示しています。

時価総額別	ロング・ポジション	ショート・ポジション
5,000億円超	59.95%	-6.95%
2,000億円～5,000億円	27.52%	-7.55%
500億円～2,000億円	51.27%	-3.12%
200億円～500億円	26.79%	-0.75%
200億円以下	13.60%	0.00%
株価指数先物等	0.00%	-66.47%

銘柄別組入れ上位5銘柄

ロング・ポジション						ショート・ポジション	
No.	銘柄コード	銘柄名	業種等	市場	純資産比	業種等	純資産比
1	6758	ソニー	電気機器	東証1	3.60%	株価指数先物等	-66.47%
2	4063	信越化学工業	化学	東証1	3.04%	小売業	-1.34%
3	6367	ダイキン工業	機械	東証1	2.74%	小売業	-1.14%
4	9432	日本電信電話	情報・通信業	東証1	2.42%	卸売業	-1.13%
5	6532	ペイカレント・コンサルティング	サービス業	東証1	2.20%	小売業	-0.98%

※上記内容は、組入銘柄の紹介を目的として作成しましたが、記載銘柄の推奨を行うものではありません。

※上記内容は、作成基準日における情報を元に作成していますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。

※当ファンドでは銘柄入替を行うことがあるため、現在の銘柄と異なる場合があります。

※業種については、東証33分類をもとに分類しております。

ユニテッド日本債券ベビーファンド(適格機関投資家向け)

(出所)あいグローバル・アセット・マネジメント株式会社

当ファンドへの組入れ比率

0.51%

組入れ上位銘柄

No.	銘柄名	比率
1	第358回利付国債(10年) 2030年3月償還	42.17%
2	第127回利付国債(20年) 2031年3月償還	19.96%
3	第145回利付国債(20年) 2033年6月償還	9.99%
4	第130回利付国債(20年) 2031年9月償還	9.94%
5	第87回利付国債(20年) 2026年3月償還	9.45%
6	第319回利付国債(10年) 2021年12月償還	8.49%

※比率は「ユニテッド日本債券マザーファンド」の組入れ資産を100%として 計算しています。

今月の投資環境など

当ファンドの7月の騰落率は+0.10%となりました。

7月の国内債券市場は上昇(金利は低下)しました。10年国債利回りは、株価上昇等で投資家のリスク選好姿勢が強まり金利が上昇する場面がありましたが、新型コロナウイルスの感染再拡大懸念等から低下基調で推移しました。

この結果、当月末の10年物国債利回りは、前月末から低下し、0.02%近辺となりました。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

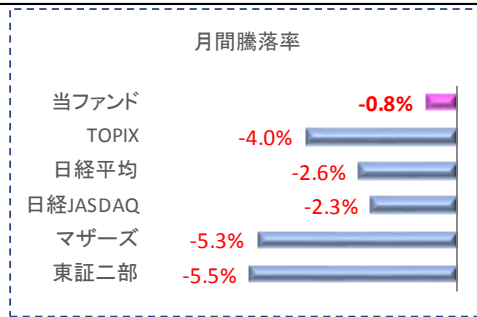
マンスリーコメント

市況概況

日本株については、日経平均株価-2.6%、TOPIX-4.0%、中小型株については、東証マザーズ指数-5.3%、日経JASDAQ平均-2.3%と、久しぶりに全面安の展開となりました。4月は新薬開発・欧米での経済活動再開への「期待」により、5月は欧米での経済活動再開・日本での緊急事態宣言の全面解除という「事実」の改善により、世界的に株価は上昇しました。6月は、前半は世界的な経済活動再開、雇用統計に代表される米国経済指標の改善により、まず上旬までは世界的に株価は上昇しました。

しかし、中旬からは、中国、米国での感染者数再拡大により、一部店舗の再開という「事実」の悪化と、感染第二波を通じた「期待」の悪化により、世界的に株価は一進一退を繰り返す展開となりました。FED（連邦準備制度）のバランスシート拡大が一服したことも、株価の調整要因となりました。この7月も基本的にはコロナウイルス問題が市場を支配する形が続いております。世界的に感染者数が拡大を続ける中、株価が、中旬まではワクチン開発報道に左右され、後半からは企業業績で現実に戻されるという、一喜一憂の展開が続いております。

日本株についても、経済の正常化期待とコロナウイルス問題による経済停滞長期化への不安から、中旬まではバリュー株とグロース株が日替わりで相互に騰落を繰り返す形になりました。後半から始まった企業決算は、業界ごとの業績の違いが鮮明に表れ、投資家が現実に戻される形で株価が大きく動く展開となっております。



※上記記載の株価指数は配当込み指数ではありません。

運用概況

今月の当ファンドの基準価額は、前月末比-0.80%の下落率（再投資基準価額ベース）となりました。

まず、月中の日本株の動きについては、月初では日経平均株価で21,000円から23,000円という広いレンジでの展開を予想していたのに対し、7月実績は、安値21,710円、高値22,965円、終値21,710円と、概ね想定通りの展開となりました。ただし、7月15日に22,965円をつけた後は、ほぼ一貫してじり貧の展開になり、終値が最安値となったこともあり、力強さを欠く展開となりました。

当月の日本株のセクター別パフォーマンスは、騰落率上位が、情報通信、電気機器、証券で、陸運、空運、不動産がワーストパフォーマンスとなりました。上位の情報通信、電気機器と、下位の陸運、空運は2か月連続で入ってきており、この結果からは、相場の裏での「コロナウイルス問題への警戒感」が感じられる形となっております。全体的には、先月に引き続き、グロース優位、バリュー劣位の展開となり、特に大型グロースの優位が目立ちました。

その中で、当ファンドでは、バリュー株の巻き戻しに常に注意を払いながらも、基本的には「コロナウイルス問題後の新世界」を見据えたポートフォリオ構築を意識しております。具体的には、ロングサイドにコロナウイルス問題後の有望銘柄を、ショートサイドにコロナウイルス問題の悪影響を受けやすいと思われる会社や構造不況業種を配置しました。その基本的戦略自体は適切であったと評価しておりますが、月後半に日経平均株価が6営業日続落で終わることとなり、ロングサイドのリターンが伸び悩みました。その結果、日経平均株価とTOPIXには勝ちましたが、マイナスリターンを余儀なくされました。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

マンスリーコメント

今後の運用方針

今後の株価については、8月中旬まで続く4-6月期決算を通じて、投資家が現実の厳しさや実体経済の変化度合いの大きさを、身をもって体感する形で、個別株の上下動が続くと思われれます。その中で、2015年以来、8月は、2016年を除いて株価が振るわず、2016年も日銀の政策変更で中身がガラリと変わるなど、要注意の月となっております。7月後半の日本株の弱さも、それを意識したものと思われれます。米中摩擦が、覇権争いのフェーズに激化していることも、要注意の要因と思われれます。一方で、多くの投資家に既に8月のリスクが織り込まれているので、ポジティブ要因に反応しやすくなっていると同時に、以下の要因も考慮する必要があります。

- ① 各国の政策余力減退で、仮にコロナウイルス感染拡大第二波が来ても、経済を止める選択肢は選ばれにくい
- ② 少なくとも、米国金利を見る限り、米国の政策余地は残されている
- ③ 「withコロナ」「afterコロナ」関連の銘柄は、成長可能性が高まる
- ④ 各国の低金利政策で、「マネー量の拡大」と「債券忌避の流れ」が続く

個人的には、日本株については、昨年10月に引き上げた消費税の引き下げ可能性のような強いポジティブ要因が発生すると、相対的に悲観的見方が強いマーケットだけに、大きな株価上昇余地が出てくると思われれます。以上のシナリオを考慮して、8月の日本株については、ドル円100円~110円前提で、日経平均株価で21,000円から23,000円(7月末終値21,710円の概ね±1,000円)のレンジでの、振れ幅の広い展開を予想します。

その上で、当ファンドでは、引き続きコロナウイルス問題の動向に細心の注意を払いつつ、アルファ・リターン追求を主眼としながらも、相場の動きを観察しながら、市場の流れに逆らわない運用を心掛けて参ります。具体的には、ポートフォリオの流動性を維持した上で、コロナウイルス問題後の世界と日本の経済を見据えた上で好ましいと思われる銘柄を自然体でポートフォリオに組み込むことを主眼としつつ、中期的観点で見た上での割安株・割高株の発掘による追加的リターンの確保を意識的に行って参ります。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資リスク等

基準価額の変動要因

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて値動きのある有価証券などに実質的に投資しますので、当ファンドの基準価額は変動します。

したがって、受益者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドおよび当ファンドが投資する投資信託証券の基準価額の変動要因の主なものは、以下の通りです

当ファンドの基準価額の変動要因の主なものは、以下の通りです。

有価証券の株価変動リスク

当ファンドは、実質的に国内の株式等を主要投資対象としますので、当ファンドの基準価額は、当該株式等の価格変動の影響を大きく受けます。株式等の価格は、国内外の政治・経済・社会情勢の変化、発行企業の業績・経営状況の変化等により変動します。その影響により株式等の価格が下落した場合、当ファンドの基準価額が値下がりする要因になります。

「ロング・ショート戦略」固有のリスク

当ファンドが投資する外国投資信託は、株式の売建て(ショート)を行いますので、売建て(ショート)した株式の価格が上昇した場合にも当ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼし、場合によっては、売建て(ショート)の特性上、損失が想定以上になることもあります(また、株式を売建て(ショート)するにあたり、借入れコストがかかります。)。当ファンドは、株式市場全体の動向から影響を抑制する運用を行います。その影響がなくなるわけではありません。また、買建て(ロング)、売建て(ショート)する株式のリターン動向について見通しを誤れば基準価額が下落する要因となり、場合によっては大幅に下落する場合があります。

信用リスク

有価証券の発行体において、経営不振、その他の理由により債務不履行が発生した場合、またはそうした事態が予測される場合等には、当該発行体が発行する有価証券の価格は大きく下落し、基準価額が値下がりすることがあります。

流動性リスク

組入有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場規模の縮小や市場動向によっては、組入有価証券が当初期待される価格での取引もしくは機動的な売買ができないことがあり、当ファンドの基準価額に悪影響を及ぼすことがあります。

解約による資金流出に伴うリスク

一部解約金の支払資金を手当てするために、当ファンドが投資する投資信託証券において、組入れている有価証券等を大量に売却する場合があります。この場合、市場規模や市場動向によっては、有価証券等を当初期待された価格で売却できないことがあり、当ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※(ご注意)以上は、基準価額の主な変動要因であり、変動要因はこれに限られるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ制度)の適用はありません。
- 当ファンドが投資する外国投資信託においては、投資銘柄の選定に関して、国内の投資顧問会社から助言を受けます。このため、当該投資顧問会社の業務または財産の状況の変化、助言担当者の交代、その他の理由により、運用に支障が出る場合があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です

分配方針

年4回(毎年1月、4月、7月および10月の各28日(休業日の場合は翌営業日))に決算を行い、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準・市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配を行わないこともあります。
- 収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づき運用を行います。

※運用状況により分配金額は変動します。※将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

お申込メモ

購入単位	1口または1円単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額(1万口あたりで表示しています。)
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	1口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金(解約)受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として換金(解約)受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	午後3時までに、販売会社が受け付けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金 申込不可日	以下の日においては、購入および換金(解約)のお申込みができません。 ・ロンドンもしくはダブリンの銀行休業日
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、1億口または1億円以上の換金(解約)請求は、正午までをお願いします。
購入・換金・申込受付の 中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金(解約)の受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金(解約)申込みの受付を取消す場合があります。
信託期間	原則として2023年10月30日までです。(2013年8月1日設定)
繰上償還	投資する投資信託証券が存続しないこととなる場合は、信託を終了させます。また、次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合 ・やむを得ない事情が発生したとき ・繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき
決算日	毎年1月、4月、7月および10月の各28日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年4回の決算時に、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。
信託金の限度額	信託金の限度額は1,000億円です。
公告	原則として、電子公告の方法により行い、委託会社のホームページ(http://www.fivestar-am.co.jp/)に掲載します。
運用報告書	毎年1月と7月の決算時および償還時に交付運用報告書を作成し、知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除、益金不算入制度の適用はありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額に、上限を 3.30%(税抜 3.0%) として、販売会社が定める料率を乗じて得た額とします。 ※ 購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
信託財産留保額	1万口につき換金(解約)受付日の翌営業日の基準価額に対して 0.30% の率を乗じて得た額を、ご換金(解約)時にご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

<p>ファンドの日々の純資産総額に年 1.155%(税抜 年 1.05%)の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期間末日または信託終了のときに、信託財産から支払われます。</p>																				
運用管理費用 (信託報酬)	<table border="1"> <tr> <td>当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)</td> <td>年 1.155% (税抜 年 1.05%)</td> <td>運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配分</td> <td>委託会社</td> <td>税抜 年 0.31%</td> <td>委託した資金の運用の対価</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>税抜 年 0.70%</td> <td>運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>税抜 年 0.04%</td> <td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価</td> </tr> <tr> <td>投資対象とする投資信託証券</td> <td>年 1.4738%(税抜 年 1.473%)程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実質的な負担※</td> <td>年 2.629%(税抜 年 2.523%)程度</td> <td></td> </tr> </table>	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)	年 1.155% (税抜 年 1.05%)	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率	配分	委託会社	税抜 年 0.31%	委託した資金の運用の対価	販売会社	税抜 年 0.70%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価	受託会社	税抜 年 0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価	投資対象とする投資信託証券	年 1.4738%(税抜 年 1.473%)程度		実質的な負担※	年 2.629%(税抜 年 2.523%)程度	
	当ファンドの運用管理費用 (信託報酬)(年率)	年 1.155% (税抜 年 1.05%)	運用管理費用=日々の純資産総額×信託報酬率																	
	配分	委託会社	税抜 年 0.31%	委託した資金の運用の対価																
		販売会社	税抜 年 0.70%	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価																
		受託会社	税抜 年 0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価																
投資対象とする投資信託証券	年 1.4738%(税抜 年 1.473%)程度																			
実質的な負担※	年 2.629%(税抜 年 2.523%)程度																			
<p>※ 当ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬について算出したものです。</p>																				
実績報酬	<ul style="list-style-type: none"> 運用の実績に応じて実績報酬が発生します。 実績報酬は、毎決算時における過去最高値の基準価額をハイウォーターマークとし、基準価額がハイウォーターマークを上回った場合、その超過額に対して5.5%(税抜5%)を乗じて算出します。 当該実績報酬は、日次で計算され、日々の基準価額に反映されます。 当該実績報酬は、毎決算時および信託終了のときに信託財産中より支払われます。 <p>※ 当該実績報酬は、委託した資金の運用の対価です</p>																			
その他の費用・手数料	<p>以下の費用・手数料等は、信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 組入有価証券取引に伴う手数料(売買委託手数料、保管手数料等) 信託財産に関する租税 監査費用 計理およびこれに付随する業務に係る費用 目論見書等の作成および交付に係る費用 運用報告書の作成および交付に係る費用 公告に係る費用 法律顧問および税務顧問に係る報酬および費用等 <p>なお、投資対象の投資信託証券においても同様の費用がかかり、当該投資信託証券の信託財産から支払われます。また、株式を売建て(ショート)するための借入れコストおよび毎月の基準価額の高値更新分に対して15%の実績報酬がかかります。</p> <p>※ 監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。 ※ これらの費用等は、運用の状況等により変動するため、料率、上限等を予め表示することはできません。</p>																			

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未滿を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「配分方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

日本株ロング・ショート・ストラテジー・ファンド 愛称:「とこしえ」

追加型投信/国内/株式/特殊型(ロング・ショート型)

作成基準日:2020年07月31日

※お申込の際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファイブスター投信投資顧問株式会社

ファンドの関係法人

委託会社: 信託財産の運用指図等を行います。

委託会社の照会先

ファイブスター投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第2266号
 一般社団法人投資信託協会会員 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

ホームページアドレス
<http://www.fivestar-am.co.jp/>
 お客様デスク
 03-3553-8711
 (受付時間:委託会社の営業日の午前9時~午後5時まで)

受託会社: 信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

販売会社: 受益権の募集・販売の取扱い、換金(解約)事務、換金代金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。

販売会社の名称等

お取り扱い 販売会社一覧		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
今村証券株式会社	金融商品 取引業者	北陸財務局長 (金商)第3号	○			
アーク証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第1号	○			
あかつき証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長 (金商)第67号	○	○	○	

※加入している金融商品取引業協会を○で表示しています。

※上記の表は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が基準日時点で知りうる信頼性が高いと判断した情報等から細心の注意を払い作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、ファイブスター投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。本資料に記載の過去の運用成績、運用内容は将来の運用成果、運用内容を保証あるいは示唆するものではありません。本資料は、原則として表示桁数未満を四捨五入しているため合計の数値とは必ずしも一致しません。本資料をご覧いただくにあたっては、「投資リスク」、「その他の留意点」、及び「分配方針」を必ずご確認ください。お申込の際は、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。